

No. 17K0003

2017年5月29日発行

2017年5月31日交付

株式会社 アイ・エス・レーティング



1. 格付結果

企業名	富士通エフ・アイ・ピー株式会社
格付の種別	情報セキュリティ格付
格付IDコード	10000260114C1708
格付スコープ	中部データセンター(*) (*システム運用管理業務 (システム環境構築、運用管理・運用監視等))
格付対象	中部データセンター
想定リスク	情報漏えい
格付符号	AAA _{is} (トリプルA)
格付の方向性	安定的
有効期間	2017年5月31日から2018年5月30日まで (交付日から1年間)

●お問い合わせ先 **株式会社アイ・エス・レーティング** 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-10-2 第20ビル8階

TEL:03-3273-8830 <http://www.israting.com>

情報セキュリティ格付は、被格付組織等から入手した情報に依拠して形成した当社の意見であり、その正確性、完全性、網羅性等は必ずしも保証されていません。格付事由書、格付レポート等は、原則として被格付組織または被格付組織の格付けを要請した者からの依頼に基づき有償で作成されたものであり、被開示者、閲覧者等には参考情報としてご提供されるものです。格付事由書および格付レポート等は、被格付組織の事業やサービス、被格付組織との取引や情報共有等を推奨するものではありません。当社は、情報セキュリティ格付に関するクレーム、訴訟その他の紛争、被格付組織その他の第三者に関して生じうる一切の損害、損失、費用等について責任を負うものではありません。なお、情報セキュリティ格付に関する一切の著作権その他の知的財産権、営業秘密、ノウハウその他の権利・利益は当社に留保され、当社に専属的に帰属するものとします。

Copyright (C) 2017 I.S.Rating All rights reserved.

2. 格付理由

富士通エフ・アイ・ピー株式会社（以下、FIP社）は、富士通株式会社の100%出資子会社であり、データセンター機能をベースに「アウトソーシング」、「クラウド」、「ソリューション」の3つのサービスを提供している。システムの企画から開発・運用・保守そして業務までライフサイクルをトータルで支援して、高品質かつ高コストパフォーマンスのICTサービスの提供を目指している。

同社は、富士通グループの理念・指針である「FUJITSU Way」に基づき、独自の情報セキュリティガバナンス体制を構築しており、社内規程の整備ならびに遵守状況の確認等の推進活動を通じ情報セキュリティ強化を図っている。さらに、アウトソーシングサービスにおいては、事業の特性上高い水準の情報セキュリティ対策が要求されることから、情報セキュリティへの取組みを品質向上活動の一環として位置付け、ISO9001、ISO/IEC27001、ISO/IEC20000の3つのマネジメントシステムを、1つの統合されたマネジメントシステム(IMS: Integrated Management System)として構築しており、その外部認証機関であるJQAでのマネジメントの統合の程度を示すランク付けにて、最高ランクであるプレミアムステージを2014年9月に取得する等、情報セキュリティの強化を積極的に推進している。

格付対象である中部データセンターは、中部地域におけるアウトソーシングサービスの需要拡大に対応するために2009年12月に新設されたデータセンターであり、高度な運用ノウハウに基づいたサービスを提供している。同センターにおける重要情報資産としては、サーバおよびバックアップ媒体に格納されている顧客システム内の情報、ならびにこれらのシステムから出力される各種帳票等が主なものである。また、情報セキュリティへの取組みは、上記の全社共通の取組みに加え、統制部門の指導のもと同センターにおけるマネジメントシステムを構築し運用を行っているほか、センター新設後も随時、物理的セキュリティを中心としたリニューアルを進めている等、積極的に情報セキュリティ対策の強化を実施している。2010年5月には情報セキュリティ格付を取得しており、今回7回目の更新審査を実施した。

まず、マネジメント成熟度の観点から見れば、マネジメントレビュー会議を中心とした情報セキュリティ管理体制が構築されており、情報セキュリティ関連諸規程の整備ならびに中部データセンターにおける具体的な運用方法を規定したマニュアル類の整備、情報セキュリティ教育を含めた人的セキュリティ、委託先管理、アクセス制御、ITシステムの運用管理、コンプライアンス

●お問い合わせ先 **株式会社アイ・エス・レーティング** 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-10-2 第20ビル8階

TEL:03-3273-8830 <http://www.israting.com>

情報セキュリティ格付は、被格付組織等から入手した情報に依拠して形成した当社の意見であり、その正確性、完全性、網羅性等は必ずしも保証されていません。格付事由書、格付レポート等は、原則として被格付組織または被格付組織の格付けを要請した者からの依頼に基づき有償で作成されたものであり、被開示者、閲覧者等には参考情報としてご提供されるものです。格付事由書および格付レポート等は、被格付組織の事業やサービス、被格付組織との取引や情報共有等を推奨するものではありません。当社は、情報セキュリティ格付に関するクレーム、訴訟その他の紛争、被格付組織その他の第三者に関して生じうる一切の損害、損失、費用等について責任を負うものではありません。なお、情報セキュリティ格付に関する一切の著作権その他の知的財産権、営業秘密、ノウハウその他の権利・利益は当社に留保され、当社に専属的に帰属するものとします。

Copyright (C) 2017 I.S.Rating All rights reserved.

ス等では非常に高いレベルで管理が進められてきている。

情報セキュリティに関する遵守事項を定めた「情報セキュリティハンドブック」や、基本行動をまとめた「六箇条の御誓文」などを環境変化に応じて改訂し、周知徹底を図っている。また、自らの取り組みを自助と共助の2つの視点から考えて記入させるなど、能動的に考え動ける工夫も取り入れており、情報セキュリティ意識を維持・継続させた、PDCAが定着している。

次に、セキュリティ対策の強度の観点から見れば、データセンター内のセキュリティレベルに応じ、ICカードおよび生体認証／暗証番号による入退管理が行われている。特にマシンルーム等の高セキュリティエリアにおいては、身分証明書による再度の本人確認（センター入館時にも本人確認を行っている）、持込み機器にカメラが内蔵されているものにはレンズ部分を封印、持込情報資産に対する情報セキュリティ検疫の必須化、画像処理による共連れ防止システム、前室のインターロック制御を組み合わせたセキュリティ対策も施されている。また、顧客のバックアップ媒体について、金属探知機に加えてRFIDタグとDRタグを用いた持出し防止策が施されている。

セキュリティ改善に関する「強化計画書」を作成しており、正常ログを含めた監視、IDカード認証による複合機の利用、鍵付きコンテナの利用、添付ファイルの暗号化、特定顧客専用BPO室の設置など、計画的に対策を追加し強化を図っている。データセンターのハウジングサービスが備えるべき管理策が高いレベルで実施されており、悪意のある外部者だけでなく内部者への考慮もなされている。

総じて、マネジメント成熟度では、新たな脅威に迅速に対応しており、常時高水準の管理状態を維持・発展させている。また、セキュリティ対策強度では、総じて悪意のある外部者・内部者に対する管理策が極めて高いレベルで講じられている。

以上